八千代市防災ハザードマップ
《利根川・高崎川・印旛放水路及び勝田川・戸神川》

避難行動判定フロー

大雨・台風時に備えてハザードマップと一緒に「避難行動判定フロー」を確認しましょう

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自宅の災害リスクととるべき行動を確認しましょう

あなたがとるべき避難行動は？ 必ず取り組みましょう

平時に確認

ハザードマップで自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。

家がある場所に色が塗られていますか？
- いいえ → 色が塗られていなくても、周りと比べて低い土地や崖のそばなどにお住まいの方は、市からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。
- はい →

災害の危険があるので、**原則として**、自宅の外に避難が必要です。（例外）

●浸水の危険があっても…
①浸水する深さよりも高いところにいる
②浸水しても「水がひくまで我慢できる」「水・食料などの備えが十分にある」ような場合は自宅にとどまり安全確保をすることも可能です。

ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？

はい →
- 安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？
  - はい → **警戒レベル3**が出たら、**安全な親戚や知人宅に避難**しましょう（日頃から相談しておきましょう）
  - いいえ → **警戒レベル3**が出たら、市が指定している**避難所に避難**しましょう

いいえ →
- 安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？
  - はい → **警戒レベル4**が出たら、**安全な親戚や知人宅に避難**しましょう（日頃から相談しておきましょう）
  - いいえ → **警戒レベル4**が出たら、市が指定している**避難所に避難**しましょう

「避難」とは「難」を「避」けることです。安全な場所にいる人は、避難所に行く必要はありません！

土砂災害に関する情報

土砂災害特別警戒区域及び土砂災害警戒区域は、「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律」（通称、土砂災害防止法）に基づき、がけ地の崩壊や土石流が発生した場合に住民に危害が生じる恐れのある区域として千葉県が指定した区域です。

要配慮者利用施設

洪水浸水想定区域内および土砂災害警戒区域内における要配慮者利用施設一覧については、八千代市Web版防災ハザードマップをご覧ください。

URL:https://www.city.yachiyo.lg.jp/soshiki/11/2171.html

内水による浸水想定区域について

近年、局地的な大雨等が頻発しており、下水道その他の排水施設の排水能力を上回る降雨が多く発生するようになっています。内水による浸水区域は、過去の局地的集中豪雨などの浸水状況及び職員の巡回などをもとに浸水区域を想定し作成しています。

また、マップに示されていない箇所においても浸水が発生する可能性がありますのでご注意ください。

八千代１号幹線沿線の浸水区域について

八千代1号幹線沿線においては、平成25年10月の台風26号の影響により甚大な被害が発生しました。八千代1号幹線沿線の浸水被害の最小化を図るため、住家の浸水被害や道路冠水の状況等、また、浸水被害軽減対策に役立つマップを作成しました。

■浸水想定区域の降雨条件
平成25年10月　台風26号の降雨
時間雨量　61.5mm
（任意の1時間の値。正時は58.5mm）
連続雨量　306mm
（15日　65.5mm　16日　240.5mmの合計値）

■八千代1号幹線浸水軽減対策
浸水区域上流の調整池の整備及び内水を京成電鉄の軌道より南側へ排水するための管渠整備等により、浸水被害の軽減に取組んでいます。

また、周辺住民の方々がパソコン等から八千代1号幹線の水位を確認できる水位監視カメラを設置しました。

凡　例【洪水浸水想定区域】

浸水した場合に想定される水深	浸水想定区域
5.0m以上の区域	
3.0m～5.0m未満の区域	
0.5m～3.0m未満の区域	
0.5m未満の区域	

浸水深の想定と見方

防災ハザードマップについて

このマップは、利根川・高崎川・印旛放水路及び勝田川・戸神川が氾濫した場合の外水（河川の堤防の決壊や河川からあふれた水）及び内水（下水道その他の排水施設の排水能力を上回る降雨によって発生した水）の浸水想定区域や、土砂災害警戒区域等の情報を示しています。

また、避難所、避難場所、車の移動場所（大雨・台風等が予測される場合に車を一時的に駐車するために開設する場所）等も確認できますので、日頃の防災対策にご活用ください。

河川の氾濫による洪水浸水想定区域

この洪水浸水想定区域図は、水防法の規定により定められた想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域と、浸水した場合に想定される浸水深を示したものです。

※洪水浸水想定区域外であっても、雨の降り方によっては、この地図に示されていない場所でも浸水する可能性があり、浸水深も深くなる場合がありますのでご注意ください。

■浸水想定区域の降雨条件
利根川：利根川流域、八斗島上流域
72時間総雨量　491mm
指定年月日　平成29年7月20日
高崎川：高崎川流域、24時間総雨量　668.7mm
指定年月日　令和2年5月28日
印旛放水路及び勝田川：印旛放水路及び勝田川流域
24時間総雨量　673.8mm
指定年月日　令和4年3月29日
戸神川：戸神川流域、24時間総雨量　668.7mm
指定年月日　令和4年3月29日

この洪水浸水想定区域図は、4河川(利根川・高崎川・印旛放水路及び勝田川・戸神川)を重ねて表しており、その浸水域が重なる部分は深い方の浸水深を表しています。

また、利根川および高崎川は、この図外に位置しています。

水害時の心得

安全な避難経路の確認

避難する場合の避難所までの経路（避難経路）は、あらかじめ自分たちで決めておき、安全に通行できるかを確認しましょう。

被害の軽減

扉の下の隙間から汚水が入ってくるので、土のうや板などで前面を囲み、タオルで隙間をふさぎましょう。また、ポリタンクなど軽い物は事前に屋内に移しましょう。
※自宅内のトイレや風呂場、洗濯機の排水口に水のう（ビニール袋に水を入れたもの）を置くと逆流を防げます。

避難の前に確認と呼びかけを

避難する時は、電気のブレーカーを落とし、ガスの元栓を閉め、床下の通気口などをふさぎ、戸締りを確認しましょう。危機が迫った時には、防災行政用無線や広報車などから避難の呼びかけをすることがあります。呼びかけがあった場合には速やかに近所に声を掛けながら避難しましょう。また、要配慮者への支援をお願いします。

地下から素早く地上へ避難する

地下空間へは水が勢いよく流れ込み、水圧でドアが開かなくなる場合もあるため、できるだけ早く地上へ避難しましょう。

川や用水路に近づかない

降雨が続き不安に思っても、川や用水路、田畑の用水を見に行ってはいけません。やむを得ない場合は2人以上で行動しましょう。河川の様子の確認は、自治体などのライブカメラ情報を活用しましょう。また、避難の途中も増水した川の近くを通るのは避けましょう。

避難所までの移動

風雨が激しくなる前に早めに避難しましょう。避難することが危険な場合は、自宅または頑丈な高い建物の上階へ避難しましょう。(垂直避難)
※車による避難は、流源に巻き込まれたり、水没する危険性があります。特に線路などの下をくぐるアンダーパスや地下道は、洪水の際、真っ先に浸水するので、場所を把握し、迂回路を想定しておきましょう。

氾濫水は勢いが強い

洪水や高潮による氾濫は勢いが強く、水深が膝程度あると大人でも歩くのが困難です。
緊急避難として、高い堅牢な建物にとどまることも選択肢の一つです。

危険なところには近寄らない

切れた電線のそばなど、危険な場所に近寄らないようにしましょう。また、氾濫水には汚水が混ざっているので、さわらないように気をつけましょう。

動きやすい格好で

動きやすい服装で、軍手をはめ、ヘルメットがある場合はかぶり、はき物は水に浸かっても歩きやすいものを選びましょう。レインコートは上下が分かれているタイプで目立つ色の物がよいでしょう。

水面下は危険です。2人以上で避難を

浸水した場所を歩く時は、長い棒を杖がわりにして、マンホールや側溝がないか水面下の安全を確認し、2人以上での行動を心がけましょう。
また、要配慮者への支援をお願いします。

【水位警報装置】

八千代１号幹線には、強い雨が降ったとき近隣住民に対して、水位が警戒水位に達し、危険が迫ったことをサイレンでお知らせする水位警報装置を設置しています。危険な状況のなかでの避難は、身の安全の確保を第一に考え、指定された避難所への移動（水平避難）だけではなく、家の２階など少しでも高いところへ移動（垂直避難）してください。

ウェブカメラで水位状況を確認できます!

▶ http://www.yachiyo-1goukansen-suii.jp/

「外水氾濫」と「内水氾濫」

雨量の増加によってもたらされる氾濫には、川から水があふれたり堤防が決壊して起こる「外水氾濫」と、市街地の排水が間に合わず、地下水路などからあふれ出す「内水氾濫」の2タイプがあります。

外水氾濫

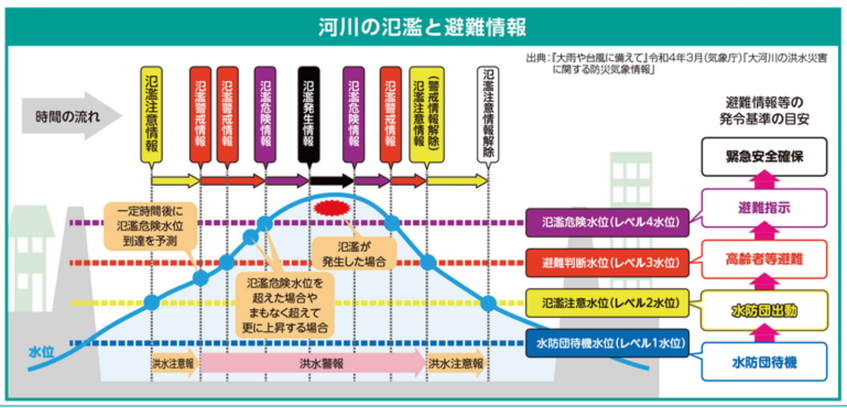
大雨の水が川に集まり、川の水かさが増し堤防を超える、あるいは堤防を決壊させて川の水が外にあふれておきる洪水。氾濫が起きると一気に水かさが増しますので、最大の注意が必要。

内水氾濫

その場所に降った雨水や、周りから流れ込んできた水がはけきれず溜まって起きる洪水。的確なタイミングで警報や避難指示等を出すのが難しいため、注意が必要。

河川の氾濫と避難情報

出典：「大雨や台風に備えて」令和4年3月（気象庁）「大河川の洪水災害に関する防災気象情報」



凡　例

	一時避難場所(指定緊急避難場所)
	広域避難場所(指定緊急避難場所)
	指定避難所 ※赤文字の避難場所・避難所は、水害時にはご利用できません
	市役所
	支所・連絡所
	消防署
	警察署・交番・駐在所
	災害医療地区病院
	車の移動場所
	臨時ヘリポート
	防災行政用無線子局
	水位観測所
	水位警報装置
	八千代1号幹線水位監視カメラ
	過去の内水浸水箇所
	土砂災害特別警戒区域
	土砂災害警戒区域
	市界
	鉄道・駅
	国道
	県道

縮尺 1:15,000
0　500　1000　1500m

禁無断複製・複写禁止

「この地図は、八千代市の承認を得て、八千代都市計画基本図DMデータ(1/2,500)を使用し、調製したものである。」(都第773号)　JIS Z 8210 鉄道/鉄道駅　駐車場
令和6年8月発行　八千代市　危機管理課　製作:株式会社ゼンリン